

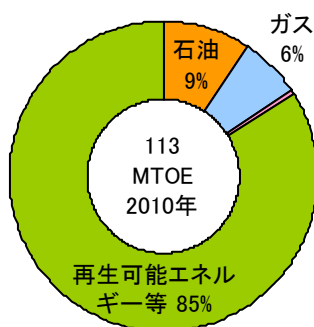
## 5-1 ナイジェリア

### 1. サマリー

#### 1. エネルギー事情

- (1) 一次エネルギー供給量 (2010年) : 113 百万 TOE (日本の 0.25 倍)
- (2) 一人当たりの一次エネルギー供給量 (2010年) : 0.71 TOE (日本の 0.20 倍)
- (3) エネルギー自給率 (2010年) : 229%
- (4) エネルギー起源 CO<sub>2</sub> 排出量 (2010年) : 45.9 百万 CO<sub>2</sub> 換算 ton (日本の 4.0%)
- (5) 一人当たりエネルギー起源 CO<sub>2</sub> 排出量 (2010年) : 0.29 CO<sub>2</sub> 換算 ton (日本の 3.2%)
- (6) エネルギー源別可採年数 (2011年末) : 原油 42.4 年、天然ガス 100 年以上

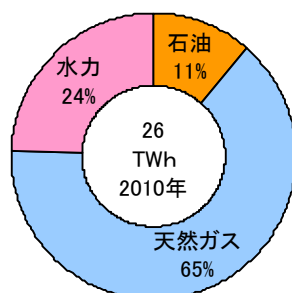
一次エネルギー供給構成 (2010年)



COUNTRY: Nigeria

(出所) IEA, Energy Balances of Non-OECD Countries, 2012 Edition

発電電力量構成 (2010年)



COUNTRY: Nigeria

(出所) IEA, Energy Balance of Non-OECD Countries, 2012 Edition

## 2. エネルギー政策のポイント

### (1) エネルギー政策担当機関

- 2010年4月に内閣再編が行われ、石油・天然ガス政策は主に石油資源省(Federal Ministry of Petroleum Resources)が所管することとなった。その中でも石油・天然ガスに関する規制監督機能は、エネルギー省内の石油資源局(Directorate of Petroleum Resources : DPR)が担っている。
- 電力部門は電力省が、環境部門は環境省が政策を所管している。

### (2) 基本政策

- ナイジェリアのエネルギー政策はこれまで石油・ガス開発促進と輸出拡大による短・中期的経済発展、エネルギー部門における腐敗の除去や透明性確保に重点を置いてきた。2011年4月に再選されたJonathan大統領による内閣発足後も、この政策に大きな変更は無く、この重点課題への取り組みを進めるべく、現在議会で審議中の石油産業法案の成立を含む国内石油・ガス産業の抜本的な改革が模索されている。
- 電気事業についてはNEPA(Nigerian Electric Power Authority)の独占体制であったが、2005年に電気事業改革法が施行され、電気事業のアンバンドリングが実施された。

### (3) 最近の動向

- 2011年4月の大統領選挙において現職のJonathan大統領が再選された。次点のBuhari候補に対し倍近い得票による圧勝であった。Jonathan大統領は南部Niger Delta出身で、同地域からの票を多く獲得した模様。今後は長らく審議が続けられている石油法の早期制定や電力不足の解決、石油収入の分配、Niger Deltaの治安問題など多くの課題に取り組むことになる。Jonathan大統領は同年7月、Madueke氏を新内閣の石油相に再任することを公式に決定した。
- 2012年1月8日から国内のガソリン価格が1リットルあたり65 Naira(\$0.43)から141 Naira(\$0.92)に引き上げられたが、これに対する国民の反発が非常に激しかったことから最終的には97 Naira(\$0.63)にまで引き下げられることとなった。

## 3. 日本とのエネルギー分野における関係

- 2011年の日本のナイジェリアからの原油輸入は408,618KL(約0.7万B/D)であり、全体の輸入量に占める割合は0.2%に過ぎない。LNGの輸入量は、東日本大震災後のLNG需要を受け大きく増加し、2011年の輸入量は前年比で3倍以上の195万ton(全体の2.4%)であった。
- プロジェクト関連では、LNG Japanが2006年4月にOK LNGプロジェクトの権益3%を取得することでNNPC(ナイジェリア国営石油会社)と基本合意している。

## 2. 主要エネルギー指標

(2010年)

(1)	一次エネルギー供給量	113	百万 T0E
(2)	1人当り一次エネルギー供給量	0.71	T0E/人
(3)	GDP 当り一次エネルギー供給量	0.73	T0E/千\$
(4)	エネルギー自給率	229	%
(5)	エネルギー起源 CO <sub>2</sub> 排出量	45.9	百万 CO <sub>2</sub> 換算 ton
(6)	1人当りエネルギー起源 CO <sub>2</sub> 排出量	0.29	CO <sub>2</sub> ton/人
(7)	一次エネルギー供給構成 (2010年)	石炭	0 %
		石油	9 %
		ガス	6 %
		原子力	0 %
		水力	0 %
		再生可能エネルギー等	85 %
(8)	エネルギーの輸入依存度	-129	%
(9)	石油の輸入依存度	-1194	%
(10)	輸入原油の中東依存度	該当数値なし	
(11)	原油輸出先 (2011年)	1位	米国
		2位	インド
		3位	ブラジル

(出所) (1)~(4)および(7)~(9)は IEA, Energy Balances of Non-OECD Countries, 2012 Edition

(5)および(6)は IEA, CO<sub>2</sub> Emissions from Fuel Combustion, 2012 Edition

(10)および(11)は DOE/EIA, Country Analysis Briefs